

高岡地区

ふれあい うるおい いきいき広域圏

広域圏だより

No.

39



圏域のみなさまを対象とした結婚を支援する取り組みを始めます。

結婚を希望しながら、なかなか一歩が踏み出せない、相手に巡り合うチャンスがない、皆さんの周りにそんな思いを持った人はいませんか。

高岡地区広域圏事務組合では、「ボランティアによる婚活支援」「とやまマリッジサポートセンターとの連携」「婚活セミナーや出会いの機会づくり」を三つの柱として婚活支援を行っていきます。

幸せなカップルがいっぱい誕生することを目標に、結婚を希望するみなさんのお手伝いをします。

1 ボランティアによる婚活支援

● 広域圏内(高岡市・氷見市・小矢部市)全域での展開へ

結婚を希望する独身男女から希望条件などを伺い、引き合わせを実施する、いわば現代版「仲人」ボランティアによる婚活支援事業を、各市の取り組みに加え、広域圏全体で進めるよう、ボランティアの募集を開始しました。

● 広域的な引き合わせの機会づくり

この事業では、ボランティア同士の集まりなどを通じた情報交換の中で、希望条件を考慮しながら、結婚を希望する方とのマッチング、引き合わせを行っていくものです。

各市の単位でのマッチング、引き合わせに加えて、次段階で広域圏内でのマッチング、引き合わせを行っていくことで、より諸条件が合致する可能性が高まるよう、今後の取り組みを進めてまいります。

◆ ボランティアの応募やお問い合わせ等

高岡地区広域圏事務組合総務課 TEL 0766-91-2101

◆ 各市でのボランティア受付等については

- | | |
|---------------------|------------------|
| ・高岡市役所 都市経営課 | TEL 0766-20-1226 |
| ・氷見市役所 (縁結びおせっかいさん) | |
| 地方創生と自治への未来対話推進課 | TEL 0766-74-8011 |
| ・小矢部市役所 (おやべの縁結びさん) | |
| 市民協働課 | TEL 0766-67-1760 |

2 とやまマリッジサポートセンターとの連携

富山県では、平成26年10月に開設した「とやまマリッジサポートセンター」で、会員登録制で、情報端末を利用してお見合い相手を検索し、会ってみたい相手に申し込みをする、一対一の個別マッチングを実施しています。

開設以来、センターを利用するにはこれまで富山市へ出向く必要がありましたが、平成27年9月から、高岡特設会場が定期的に開設されています。

広域圏事務組合では、このセンターが今後さらに圏域の皆さんにとって利用しやすいものとなるよう、富山県等との協議を進めてまいります。

◆ とやまマリッジサポートセンター

TEL 076-471-6510 URL <https://www.msc-toyama.jp/>

※高岡特設会場は、現在、日曜、水曜、金曜それぞれ10時から16時まで、ウイングウイング高岡(高岡駅前)で開設されています。また、センターの利用には予約が必要です。詳しいことはセンターへお問合せください。

3 婚活セミナーや出会いの機会づくり

結婚に関する県民意識調査では、「どのように声をかけていいのかわからない」など、男女交際に関する不安に関しての回答が、少なくありません。

広域圏事務組合では、結婚希望者向けのコミュニケーションやライフプランに関するセミナーの開催するとともに、これに併せて簡単な交流会を設けるなど、結婚を希望する方へのブラッシュアップの機会づくりと、幅広い出会いの場づくり事業を実施していきます。

総合的な婚活支援の取り組みへ

高岡地区広域圏事務組合では、結婚を希望する方との出会いの機会づくり等を充実させるため「ボランティアによる婚活支援」「とやまマリッジサポートセンターとの連携」「婚活セミナーや出会いの機会づくり」を三つの柱とした、総合的な婚活支援事業の展開を目指してまいります。



7月18日(土)

ひるがの高原サービスエリア ウェルカムイベント開催

中京圏からの誘客を図るため、広域圏内へのアクセス道路である東海北陸自動車道のひるがの高原サービスエリアにおいて臨時観光案内所を開設しました。

今回は能越自動車道の県内区間の全線開通や、高岡市の「高岡御車山会館」、氷見市のひみ漁業交流館「魚々座」、小矢部市の大型商業施設のオープンにあわせ、最新の観光情報を発信するとともに、利用者の方々に動向調査を実施しました。



8月22日(土)～23日(日)

2日間で50万人が参加 『麻布十番納涼まつり』に出店

第49回を迎えた麻布十番納涼まつりは、東京都で開催される代表的な夏まつりの一つです。当日は、地元麻布十番商店街の老舗・名店が路上に出店するほか、「おらがくに自慢」として全国の自治体から50を超える出店が

あり、地域の産品販売や観光PRが行われました。

大変な混雑の中、広域圏では観光PRのほか、富山の地酒と氷見牛力レーパンの販売を行いました。新幹線の開業による北陸地域への関心が高まる中、首都圏の皆さんに向けて圏内3市に関心を



9月22日(火)

三井アウトレットパーク北陸小矢部 ウェルカムイベント開催

広域圏の玄関口となる小矢部市にオープンした「三井アウトレットパーク北陸小矢部」において、圏域内での周遊観光を促し、魅力を感じてもらうことを目的として、臨時観光案内所を設置しました。

来店した方に対し、観光情報の提供、3市マスコットキャラクター4体での歓迎や、ふれあい撮影会を実施しました。



ふるさと名人講座の開催

◆ふるさと名人 森川外茂男氏 武者絵展

期日 平成27年5月28日(木)～6月4日(木)
場所 ふくおか総合文化センター(Uホール)
2Fギャラリー

平成27年1月に、森川氏から当組合へ武者絵1点を寄贈いただきました。これに感謝の意を表して、感謝状贈呈式及び作品展を開催しました。



◆草木染め教室

期日・場所

6月17日(水)

福岡ふれあい交流センター

10月17日(土)

高岡市立大湊公民館

講師 辻内 佐和子先生



◆漫画教室

期日 7月26日(日)

場所 小矢部市立荒川公民館

講師 山下 泰文先生

～ 高岡広域エコ・クリーンセンター ～

高岡広域エコ・クリーンセンターの運転状況

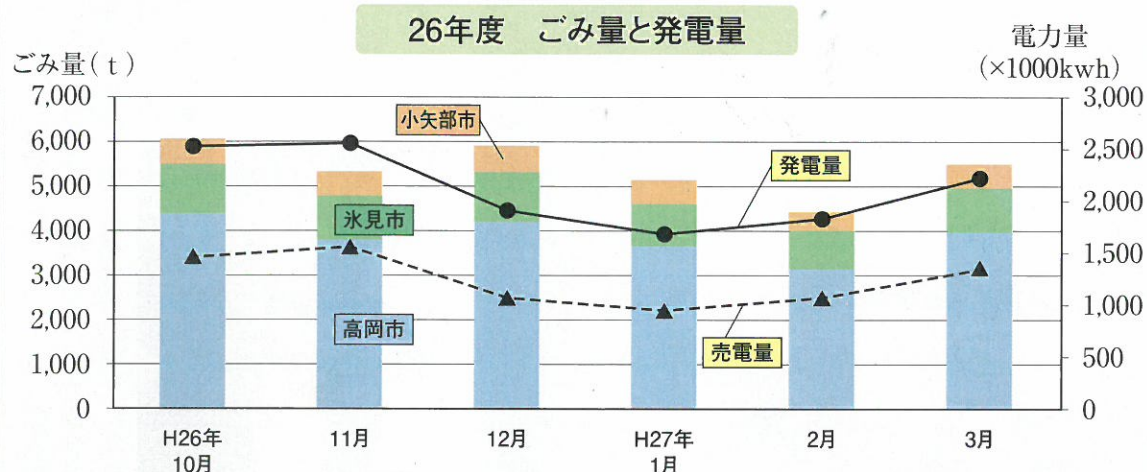
高岡広域エコ・クリーンセンターは、昨年10月から本稼働を行って1年を経過しました。平成26年度の6か月間の運転状況は以下のとおりです。

●ごみ量

10月から3月までの6か月間に搬入されたごみの量は32,354tで、各市の割合は高岡市70.9%、氷見市19.0%、小矢部市10.1%でした。

●発電量

ごみを焼却したときに発生する熱を回収して発電を行っています。6か月間に発電した電力は12,669,000kwhでした。施設で使用したあとの余剰電力は7,421,000kwhで、電力会社に売電しています。売電収入は高岡広域エコ・クリーンセンターの運転経費の一部に使用されています。



●排ガスの状況

施設からの排ガスは、法律の基準より厳しい自主基準を設けて運転管理を行っています。

項目	単位	1号炉	2号炉	3号炉	自主基準	(法基準)
ばいじん	mg/m ³ N	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.008	(0.08)
いおう酸化物	ppm	6.0	12	8.0	25	(約500) ^{※1}
塩化水素	ppm	20	17	17	25	(約430) ^{※1}
窒素酸化物	ppm	35	39	32	50	(250)
ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.05	(1) ^{※2}

※1 いおう酸化物と塩化水素は法律の基準をppm濃度に換算した数値を表しています。(1ppm = 0.0001%)

※2 ダイオキシン類の単位にあるTEQは毒性等量を表しています。(1ng=10億分の1グラム)

高岡広域エコ・クリーンセンターは、上の表のとおりすべての項目が法律の基準を大幅に下回る環境にやさしい施設です。これからも市民の皆様様に安心して暮らしていただくため、安定運用に努めてまいります。

高岡地区広域圏事務組合とは？

高岡市・氷見市・小矢部市が行う、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置された組織です。当組合はごみの焼却、環境分析のほか、地域の振興のための結婚の支援、広域観光の推進、ふるさと名人活用事業などを実施しています。

編集・発行 高岡地区広域圏事務組合 総務課

〒935-0035 氷見市上田子字笹谷内50番地 ☎91-2101 FAX 91-9096

ホームページアドレス <http://www.takaoka-kouiki.jp/> メールアドレス soumu@takaoka-kouiki.jp

この紙は森林資源保護のため再生紙を使用しています。

印刷／株式会社アヤト